

いよいよ29日  
午後3時から



**市田忠義**  
参院議員  
党書記局長

**迎えた日本共産党演説会**

日本共産党の市田忠義書記局長・参院議員を迎えた日本共産党演説会が、いよいよ29日(土)午後3時から大津市のびわ湖ホールで開かれます。参院選は6月24日公示、7月11日投票がほぼ確定となりました。「アメリカにも、財界大企業にもきちんとモノがいく日本共産党」の躍進が求められています。演説会では市田忠義書記局長が約1時間たっぷりお話しします。守山市から会場への直通送迎バスが運行されます。

**守山から直通送迎バス**  
午後1時半市役所  
1時45分駅東口

市に緊急申し入れる小牧、松葉、石堂の3氏  
応対する秋山都市経済部長



口蹄疫は、人には感染しませんが、牛や豚などには非常に感染力が強いウイルス。家畜伝染病に指定されており、発生した場合は、治療法がないため殺処分が義務づけられています。日本では2000年に92年ぶりに宮崎と北海道で発生、740頭を処分しましたが、今回はケタ違いの被害。手塩にかけて飼育した家畜の殺処分を受ける被害畜産農家の苦悩は筆舌に尽くせないもので精神的重圧は極限に達しています。しかも被害は拡大する一方。近江牛で知られる県内の肉牛素牛の4割が宮崎牛だけに感染予防に万全にすることは緊急課題です。守山市でも畜産農家が、肉牛80頭を飼育しています。申入れでは、国や県と連携して防疫体制の強化、家畜の健康状態を徹底把握すること、感染ルート

**感染予防など8項目**

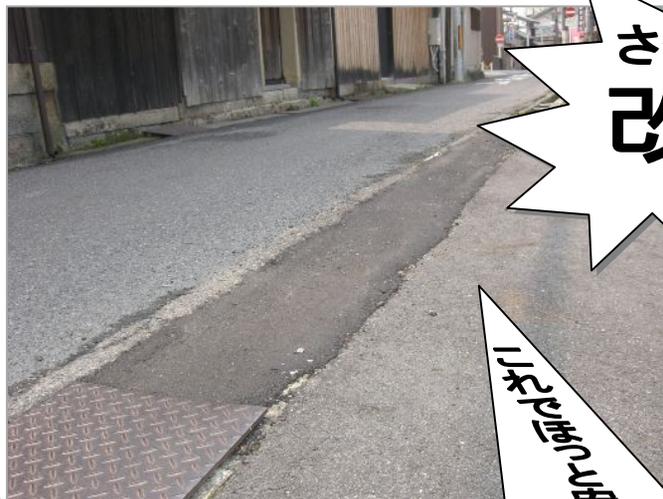
宮崎県で発生した牛や豚の口蹄疫被害は、数十万頭を殺処分せざるを得ないなど戦後最大の畜産被害となっています。全国に拡大する恐れもあることから、日本共産党守山市委員会の石堂淳吉委員長、小牧一美議員、松葉栄太郎党市くらし対策委員長は26日、市は国、県と連携して、感染予防に万全を期すよう8項目の緊急申し入れを行いました。

宮崎県で震撼させた

# 口蹄疫

緊急申し入れ

日本共産党が守山市に



**さっそく改善**

跳ね上がったいた道路側溝の蓋

先週の守山民報で紹介しましたが、守山2丁目地先の道路側溝。左の写真のように、さっそく改善されました。「何とかして…」市民の声に小牧議員が現地調査し、市に改善を求めていたものです。指摘を受けて、担当課が早速対応。はね上がったいた鉄板を撤去し、溝の中に塩ビ管を入れてその上にアスファルトをかぶせて、溝を埋めました。「これで、安心して通行できます」と近所のみなさんに喜ばれています。



日本共産党  
**守山民報**

守山市議会議員  
**こまき一美**

TEL・FAX 582-3785  
http://komaki.jcp-web.net/

党守山市くらし対策責任者  
**まつば栄太郎**

TEL 584-3077  
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 484号 2010・5・26 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45~6:45 守山駅で街頭宣伝しています。